



MONTO

新登場 (MONTO WEB版) <http://www.poly.iwate-pu.ac.jp/monto/>

岩手県立大学
総合政策学部ニュース
Iwate Prefectural University
第4号2000.10.20

今号の「モント事件簿」は「県立大調整池怪獣?出現の謎」を追う(8面)

ページの名前は「総合政策学

景気は回復基調にあるが、就職をとりまく環境は「超氷河期」を脱していない。こうした状況のなか、本学も開学以来はじめての卒業生を送り出すにあたって、就職対策に迫られている。総合政策学部でも、就職委員会が議論をかき、就職説明会、公務員試験対策ガイダンス、就職懇話会、各種業界セミナーを開催したり、インタビュの支援をおこなうなど、準備を進めてきた。

「就職委員会からのお知らせ」は、その時々、学生に対する就職関連情報を掲載している。就職説明会や業界セミナーなどのお知らせはこの欄によって伝えられるので、かならず目をとらえていただきたい。

「超氷河期」を乗り越え就職対策準備すすむ

就職委員会からののお知らせは、その時々、学生に対する就職関連情報を掲載している。就職説明会や業界セミナーなどのお知らせはこの欄によって伝えられるので、かならず目をとらえていただきたい。

「2」「3」は内容的にまだ不十分であるが、情報収集や企業更新していくべきと考えている。「2」のリンク集は充実している。就職情報の入手に活用していただきたい。

就職委員会では、さまざまな



公務員就職懇話会(7月13日) 一本紙6・7面に記事

平成13年度入学者選抜要項公表
総合政策学部では、いずれの試験においても変更はない。特別選抜(推薦)は小論文10面、前期日程は大学入試センター試験、個別学力検査+総合問題、後期日程は大学入試センター試験、個別学力検査+小論文10面+面接が課される。大学入試センター試験は二教科、三科目の自由選択制である。各試験の配点にも変更はない。

推薦、後期日程の小論文は、テーマ的には総合問題と同じであるが、英文や資料、図版はふくまれない。小論文、総合問題とも、論文を書くという点での難しさはある。しかし、うまく書くということにこだわらなければ、書けるようになる。うまく書くことを考えるよりも、まず「現代社会がかかえる諸問題」にかんする知識、情報を収集していただきたい。そのためには、もちろん新聞を読むことも大切であるが、とりあえずは手もとにある「政治・経済」現代社会の資料集を丹念に読むことから始めてみよう。

過去の問題については、総合政策学部のホームページの「入学案内」の項目をクリックして、プリントアウトすることができ。学部ホームページのアドレスは、<http://www.poly.iwate-pu.ac.jp/>である。

子供たちが家庭でテレビやゲーム機でどれくらい時間を費やすか調べた調査がある。それによると、幼稚園児から小学生まで平均して、テレビに二時間、ゲームに一九時間を費やしている。家族との会話は〇・九時間とこのことだ。父親が四〇歳までという一七(日本青年会議所のメンバー)を対象にしたアンケートによる。この数字で日本のすべての家庭を類推するのには無理があるかもしれない。だが、大体的傾向は似たり寄ったりだろう。



大学院開設記念式典で式辞を述べる増田岩手県知事

式典では、増田岩手県知事が「大学院教育を通し現代社会の複雑化・高度化に対応できる人材を養成し、県が掲げる夢、早稲田の実現を大いに推進してもらいたい」と式辭を述べた。西澤潤一学長は「大学院設置に尽力された多くの方々の努力に報いるよう、賢治の精神にみられる豊かな人間性に加え、高度の科学技術などの修得や実践能

力の実現に努めていきたい。大学院は志ある社会人に対しても開かれており、新たな勉学の機会となることを望む」と謝辞を述べた。



式典の後、梅原猛・国際日本文化研究センター長が「賢治と東北」と題して記念講演を行った。

大学院開設祝い記念式典 梅原猛氏が記念講演

式典では、増田岩手県知事が「大学院教育を通し現代社会の複雑化・高度化に対応できる人材を養成し、県が掲げる夢、早稲田の実現を大いに推進してもらいたい」と式辭を述べた。西澤潤一学長は「大学院設置に尽力された多くの方々の努力に報いるよう、賢治の精神にみられる豊かな人間性に加え、高度の科学技術などの修得や実践能

力の実現に努めていきたい。大学院は志ある社会人に対しても開かれており、新たな勉学の機会となることを望む」と謝辞を述べた。

平成13年度入学者選抜要項公表
総合政策学部では、いずれの試験においても変更はない。特別選抜(推薦)は小論文10面、前期日程は大学入試センター試験、個別学力検査+総合問題、後期日程は大学入試センター試験、個別学力検査+小論文10面+面接が課される。大学入試センター試験は二教科、三科目の自由選択制である。各試験の配点にも変更はない。

推薦、後期日程の小論文は、テーマ的には総合問題と同じであるが、英文や資料、図版はふくまれない。小論文、総合問題とも、論文を書くという点での難しさはある。しかし、うまく書くということにこだわらなければ、書けるようになる。うまく書くことを考えるよりも、まず「現代社会がかかえる諸問題」にかんする知識、情報を収集していただきたい。そのためには、もちろん新聞を読むことも大切であるが、とりあえずは手もとにある「政治・経済」現代社会の資料集を丹念に読むことから始めてみよう。

風媒花

子供たちが家庭でテレビやゲーム機でどれくらい時間を費やすか調べた調査がある。それによると、幼稚園児から小学生まで平均して、テレビに二時間、ゲームに一九時間を費やしている。家族との会話は〇・九時間とこのことだ。父親が四〇歳までという一七(日本青年会議所のメンバー)を対象にしたアンケートによる。この数字で日本のすべての家庭を類推するのには無理があるかもしれない。だが、大体的傾向は似たり寄ったりだろう。

世の中から大学院にとびこんで...

出席者(五十音順)



玉谷 捷二
(たまたま けいじ)
会社役員



今橋 克寿
(いまはし かつとし)
前東和町役場職員



野澤 三枝子
(のざわ みえこ)
古吉市議会議員



岩瀬 公二
(いわせ こうじ)
フリーライター



藤澤 勇
(ふじさわ いさむ)
盛岡市役所職員



太田 玲子
(おおた れいこ)
企業企画部門の出身



司会
米地 文夫 総合政策学部教授

平成12年6月15日、県立大学食堂3階和室で収録
 今春、岩手県立大学に大学院総合政策研究科(修士課程)が開校され、十三名が入学した。そのうち社会人が十二名、いずれも多彩な職業やユニークな経歴の持ち主ばかりである。大いなる決意で大学院にとびこんだ「社会人大学院生」を代表して六人に、入学の動機や大学・学部学生への注文など、率直に語り合ってもらった。

■未知との遭遇?

司会 米地文夫 大学院には多士多士というが、実際にバラエティに富むすばらしいメンバーが集まっています。最初にどうしてここを受け入れたか、自分のこれまでの経歴と関連してお話しただければと思います。

野澤三枝子 私は宮古市から、往復で五時間かけて、月曜日から水曜日、通っています。講義を受けている時間より通学時間の方が長いなんて笑われました。私の職業は助産婦。宮古や東京で今まで五百人くらいのお子さんたちを取り上げました。

平成九年、社会教育活動に関わっていた関係で、上司から、宮古市には女性議員が一人もいないので補選に出ないかと薦められた。たまたま一本の電話と、一日で決断してしまいました。自分なりに早急の活動を始めて、今二期目です。自分がやっていた議員活動につながる総合政策で勉強したいと思い大学院を受験しました。

司会 やっぱり選挙演説をやっている方はいますか。(笑)

今橋克寿 この三月まで東和町役場の職員でした。私にとって、岩手県全体が学校であり、いうふうには思いません。大体私は一箇所に定住するのが苦手です。仕事も居場所もいろいろと変えたいと落ち着かない、落ち着かないと落ち着かない男なんです。(笑)。大学で環境科学を学んでいた時のフィールドが北上山系の山村でした。ここで私は岩手の人々の暮らしが、仕度でくまなくインパクトを及ぼしているのを見てきました。たまたま九年前に、東和町からまらぶくりの仕事をやった。東和町の役場も大変熱心で受け

れども、町の皆さんが大変おもしろくて、ユニークで熱心な方が多くいて、まちづくりの幅広い活動を全国的な形でできたいと思っていました。この大学院の開設を知りました。お父さんは今、毎日一生懸命大学へ通っています。一生懸命返せば失業中なんです。(笑)

岩瀬公二 僕は大学を出てから一時県の財団法人で市町村の計画を作っていました。フリーになってからも制と行政系の仕事が多かったので、政策評価には関心がありました。もう少し行政、政治の仕組みも含めて政策を実現する過程を研究して、その分野の知識や技術を持つた、僕らしい仕事の世界を作りたいと考えています。

太田玲子 私は工学部でしたが、研究一筋の教授にギャップを感じ、大学院を論めた経緯がありました。秘書の仕事をしてきましたが、曾祖父の中には、銀行の創設者や代議士、学者などがいることもあって、一体自分は何によって社会に貢献できるかと自問してました。岩手県の文化財に指定された家に住むようになって、一体文化財と

は何なんだろうと考えるようになりました。今の社会の中で、経済だけではなく、日本人が本来持っていた誇りとか気概を掘り起こしていきたいという大きな夢を持ち始めています。これは二年間では絶対できないのだから、一生大学院で関わって、ための一つの基礎を大学院で学べたらいいなと思っています。

藤澤勇 盛岡市役所に勤め、産学官(産業・大学・行政)の連携に関する事務を主に担当しています。私が市役所に入るきっかけになったのが、大学三年生の時に、市の職員がゴミ問題についての講演を聞いたことでした。市役所に入ってすぐ、廃棄物の仕事を希望し、清掃管理課で四年間働きました。その頃から市民の意識とのギャップを感じ、方法論で非常に悩まされた。理念にとりつくまでのプロセスにはいろいろな苦労がありました。理想をもちたいなと思っていました。たまたま仕事でおじいさまの県立大学に大学院ができて、立派な施設で立派な先生方がいるからと、合格してしまいました。研究テーマとして最初は都市計画

を考えていたんですが、実際入ってみると、いろいろおもしろいテーマがあり、幅が広がっています。

玉谷捷二 私は盛岡市内で、従業員六人の小さい測量設計会社を営んでいます。県立大学にお世話になるきっかけは、去年六か月ばかり研究生として、紫波町の林野火災の現場を調査し、まとめさせていただいたことでした。自分は今までずっと、測量設計を通じて建設という名詞にばかり携わってきました。今後は環境を重視するという立場から、少し自分を見つめてみたいなと思っています。大学を出てから三十年以上になるので、自分の研究テーマをもう一度見直してみたいということ、大学院にお世話になることにしました。

■大学院での体験は...

司会 入ってから感想や注文いろいろあると思いますが、どうでしょう。

岩瀬 設備的に環境的にもすばらしいと思います。難を言えば、使い勝手の部分だと思います。例えば、情報系の学

部があるせいもあって、コンピュータ関係はいろいろありますが、図書館の方は正直言って手薄です。さらに、総合政策に将来博士課程が置かれることを含めて考えると、もう少し資料関係を揃えていた方がいいですね。特に図書館が休日閉まっている。社会人を受け入れるというところは、土日も利用できるということ、これは早急に整備してほしいですね。

野澤 宮古短期大学の図書館も、せめて土曜日に開放していただけたらと思います。また、例えば観光パンフレットなど、岩手県の行政関係のあらゆる資料が全部県立大学に送ってもらいたい。一般の方も利用できるようにしたいですね。

司会 公文書館をつくるなら、県立大学の付属施設としてつくったらすばらしいと思います。今橋 私は公務員を退職してからです。大学院の二年間のうちに次の創業の準備をしたいという思いがあります。私なりに、学びを単なる趣味と実利のレベルで終わらせないで、地域でしっかり生きていくための力をつける、そういう学びでありたいと思っています。それには自分を追い込んで、失業状態に自分を追い込んで、いつかチャレンジしてみたいなと...!

新し 大学が出て、岩手県自身がチャレンジしている、先生方も学生も創造している、私にとって魅力を感じるところです。

太田 私は、コンタクトを必要とする時にとりていただけた人材を自分の中にたくさん持っていることがたくさんあります。今、私、自分の家を結びつける何かを生むことができたいなと思っています。そういう意味では、こ

部があるせいもあって、コンピュータ関係はいろいろありますが、図書館の方は正直言って手薄です。さらに、総合政策に将来博士課程が置かれることを含めて考えると、もう少し資料関係を揃えていた方がいいですね。特に図書館が休日閉まっている。社会人を受け入れるというところは、土日も利用できるということ、これは早急に整備してほしいですね。

野澤 宮古短期大学の図書館も、せめて土曜日に開放していただけたらと思います。また、例えば観光パンフレットなど、岩手県の行政関係のあらゆる資料が全部県立大学に送ってもらいたい。一般の方も利用できるようにしたいですね。

司会 公文書館をつくるなら、県立大学の付属施設としてつくったらすばらしいと思います。今橋 私は公務員を退職してからです。大学院の二年間のうちに次の創業の準備をしたいという思いがあります。私なりに、学びを単なる趣味と実利のレベルで終わらせないで、地域でしっかり生きていくための力をつける、そういう学びでありたいと思っています。それには自分を追い込んで、失業状態に自分を追い込んで、いつかチャレンジしてみたいなと...!

新し 大学が出て、岩手県自身がチャレンジしている、先生方も学生も創造している、私にとって魅力を感じるところです。

太田 私は、コンタクトを必要とする時にとりていただけた人材を自分の中にたくさん持っていることがたくさんあります。今、私、自分の家を結びつける何かを生むことができたいなと思っています。そういう意味では、こ

首藤伸夫教授に NHKから会長感謝状
 長年の津波災害報道に貢献

県立大学総合政策学部の首藤伸夫教授が、NHK(日本放送協会)から、放送事業の発展に尽くした長年の功績を認められ、会長感謝状が贈呈された。

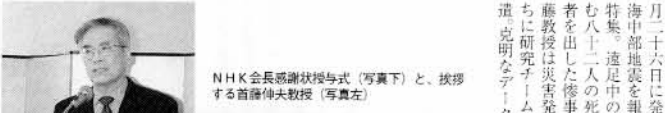
首藤教授は、世界的な津波の研究家として知られ、NHKスベシヤルをはじめ数多くの番組に出演し、防災対策の大切さを訴え、防災対策の確立に尽力するなどの、社会人を受け入れるというところは、土日も利用できるということ、これは早急に整備してほしいですね。

野澤 宮古短期大学の図書館も、せめて土曜日に開放していただけたらと思います。また、例えば観光パンフレットなど、岩手県の行政関係のあらゆる資料が全部県立大学に送ってもらいたい。一般の方も利用できるようにしたいですね。

司会 公文書館をつくるなら、県立大学の付属施設としてつくったらすばらしいと思います。今橋 私は公務員を退職してからです。大学院の二年間のうちに次の創業の準備をしたいという思いがあります。私なりに、学びを単なる趣味と実利のレベルで終わらせないで、地域でしっかり生きていくための力をつける、そういう学びでありたいと思っています。それには自分を追い込んで、失業状態に自分を追い込んで、いつかチャレンジしてみたいなと...!

新し 大学が出て、岩手県自身がチャレンジしている、先生方も学生も創造している、私にとって魅力を感じるところです。

太田 私は、コンタクトを必要とする時にとりていただけた人材を自分の中にたくさん持っていることがたくさんあります。今、私、自分の家を結びつける何かを生むことができたいなと思っています。そういう意味では、こ



NHK会長感謝状授与式(写真下)と、挨拶する首藤伸夫教授(写真左)



森林公園

大学の裏手にある森林浴にはもってこいの場所です。約60haという広大な面積に約200種類の樹木が生い茂っています。春には色とりどりの花が咲き乱れ、夏にはあたり一面がほとんど緑一色となり、秋は紅葉が素晴らしいです。県の木である「南部アカマツ」もあります。しかし、最近では他の樹木に駆逐されている様子。

また、キビタキ、シジウカラなどの野鳥も姿を現します。え、どれがキビタキかなんてわかる訳ない？ そんなあなたは本学部の教授に聞いてみよう。キビタキの鳴き声を耳にスマート(?)に教えてくれるはず。そんなのは恥ずかしいって言う君には、公園内にあるネイチャーセンターがおすすめ。指導員の方が親切丁寧に解説してくれるでしょう。ちなみに、毎月第3日曜日は自然観察会が開催されています。

そして、ここを流れる小川の一部には、ホタルの顔となるカマナという巻貝の一種が生息していることが、環境調査実習でわかりました。ということは、運がよければ夏にはホタルが見られるかもしれませんよ。

この地域の動植物がふんだんに見られる森林公園に一度足を踏み入れれば、きっと本学部の環境コースで学びたくなること間違いなし！



盛岡大学

8月のある日。「モリダイ」と盛岡大学に、友人と潜入致しました。その様子をお伝えします。

正午。おなかのすいた私達は、まずお昼に。私は鳥のクリームシチュー（狙いのハンバーグは売完）、友人は好物のサバの味噌煮をメインに数品。食べての第一声。「奥大と違うー！」学生生活協賛なので、ガンダイこと岩手大学とほとんど変わらないらしいのですが、奥大のメニューに食気味だった私は感動。一緒にいた盛岡大の友人は、びっくりしておりました。栄養を考え、自分に合った献立を組み合わせる楽しさは、奥大ではなかなか満喫できない醍醐味でした。普段のランチに物足りなさを感じたら、足を運んでみては？



おなかを満たされた私達は、キャンパス探索に行きました。テラスは緑の中に白い椅子。和みを感じた空間でした。たまには別のキャンパスの雰囲気を感じたいと思ったら、少し足を伸ばしてみたらどうでしょうか。

奥大から盛岡大までは、車で5分、徒歩だと約30分程度です。

県立大 付近



18 むらの市 (日の丸青果)

県大生がよく利用している食品店の、むらの市一日の丸青果一には、新鮮な野菜や果物が、格安で販売されている。営業時間は、AM10:00~PM8:00、休業日は、月2回、日曜日、お店にあるカレンダーに印がついているそなので要チェック！！

通常の土曜日には、お買い得商品がレジの向かい側に並べてあるので見逃さないように。また、月1回、第1か第2水曜日には大売り出しがあるよ。

毎週、水曜日は、デザートが安い// ヨーグルトは3個で100~120円、1個50円という安さ、カルシウム不足の学生にとっては嬉しい話ではありませんか？

店員さんに、話を聞いたところ、「お店に来る大学生は、自炊している人が、思ったよりも多いように感じます。きゅうりは、2・3本で売っているので、一人暮らしの学生さんには買いやすいんですよ。聞いたことは、インスタント食品を買う学生が少ないことですね。」と、話してくれた。これを聞いて、安心、安心、食費、健康面を考えても、自炊が一番！！

お菓子コーナーも、手ごろな100円均一で、充実している。また、ちょっとしたお惣菜（いも天、きんぴら、おにぎりなど）も全部100円でお買い得。

夏には欠かせないアイスは、2割引になることがあり、ジュースもコンビニで買うよりも安く、500ml・128円、1.5ℓ・238円という安さ、年中目が離せないよ。

そして、何といっても、日の丸青果の目玉といってもいいほど、お買い得な商品が毎週自炊生活にはなくてはならない卵が、なんと1パック100円という安さには驚かされる。卵焼き、目玉焼き、おでん、チャーハン、調理法は様々あり、料理の幅も上がることでしょ！！



20 やなさん

松岡に本店があるラーメン屋さん、「やなさん」。歌手の森公美子さんやプロレスラーの藤原組長も訪れたことがあるとか、滝沢店を仕切るのは本店の長男で、ご主人の柳村和也さん。奥さんと一緒に値段は低く、ボリュームは多くのサービス精神を提供している。そんな「やなさん」には地元高校生も足しげく通ってるとか。

自分は食いしん坊というご主人は自分がお客さんだったらという立場で考え、お客さんの顔を覚えて、来店の度にその学生さんのお腹に合わせて量をサービスするというなんともありがたい細かな気遣いもしてくる。腹すかしの学生はぜひどうぞ！！

営業時間：平日 11:00~20:30
日・祝日 11:00~20:00
定休日：毎週月曜日(月曜日が祝日の時は火曜日)

23 駅前ラーメン

大きな犬がゴロリと寝そべっているというウサのラーメン屋さん。

寒い滝沢村、あたたかいラーメンをふと食べたくなるかもしれません。外食すると心配になる出費のほうですが、お手ごろ値段だから食べた後のふところも、(やや) あったかい？

17 たきざわ駅前歯科医院

この歯科の先生は南部先生。インタビューをする中虫歯の予防の話以外にも色々たまたまなる話を聞かされた。

虫歯は一本ある時はそれ以上虫歯があると考えるといいということ。また「少年期に早く虫歯になりやすい」ということ。自分はまだ若いと思っていた内にすぐに老人になってしまうので時間を惜しんで勉強しようという事だ。また、仏教ではお布施をさせることを在家信者にとっての修行の一つと考えている。教えてくれたことは修行の一つともいうこと。

歯だけではなく心もきれいにしたい人はぜひ行ってみたいでしょう。

たきざわ駅前歯科医院 休診 日曜・祝日
受付時間 AM9:00~0:30
PM2:00~6:30
TEL 019-688-5580

22 ボワソン

滝沢駅からでもすぐに見える。最近オープンした洋食屋さん「ボワソン」。シェフであり、ご主人の釜石さんと奥さんの二人でお店を切り盛りしている。シェフは岩手県出身、東京で20年間修行をしてきた。学生になるべく安く、おいしい洋食を気軽に楽しんでもらいたいと、常に値段やメニューに創意工夫をし手作りの味を心がけている。学生さんや地元の方と仲良しのお店を目指し、いろいろなアイデアを思案中。

ところで「ボワソン」とはフランス語で魚のこと。お店のロゴは妻娘の線乃ちゃんが書いたものだから。アットホームな空気漂う「ボワソン」に食事と一緒に遊びに行ってみてはいかが？

滝沢駅 付近



21 ANAVA

その名も「激烈居酒屋ANAVA」// 熱い料理が自慢。料理を堪能しながら熱く夜を語り通そう！

19 anew (アニュー) 自然食品の店

アニューは自然治癒力を高める安全な食材と正しい食生活を提案する店で、滝沢駅前「むらの市」の向かって右側にある。食品だけではなく、自然派化粧品や食品添加物ガイドブック、環境に配慮した生活用品などもそろっており、商品には説明書が付いているものが多いのも嬉しい。もちろん、店員さんも分かりやすく説明してくれるので、分からないことがあればどんどん聞いてみよう。

お店のイチ押し商品は「腸内活性ヨーグルト」。便秘に効果的で食べて1時間後(店員さん談)にはお腹がスッキリするという優れたものである。取材に行ったのは平日の午後2時くらいだったので、既に売り切れていたほどの人気。他にはめんつゆのように、料理をする際にも使える「だし味」も自炊派の学生にはオススメのことだった。

店内をうろついていると、「華から生まれて土に還るスポンジ」なんて商品もある。石油系界面活性剤、合成酸化防止剤、着色料、防腐剤などを一切使用していない石けんや洗剤、シャンプーもそろっている。値段は少々高めかもしれないが、これは個人の意識の問題だろう。

1人暮らしの生活で荒んだ自分の体をたまには労わって、ついでに自然のことも考えてみる。いい感じではないですか？大学の滞りにちょっととお店を覗いてみてはいかが？

営業時間 10:00~20:00
毎週日曜定休
TEL 019-694-3005
※月1回(不定期)でセールあり

16 のざわ歯科医院

滝沢駅から大学へ民家の間を通るような道がある。その途中にあるのが、のざわ歯科医院。この歯医者さんはなんと予約なしで診察を受けることができる。近所に住む人や掛かりつけの患者さんは、病院の外の窓から中の混み具合をみて診察をうけにくるとか。診察をしてくださる五木田先生は、患者さんに丁寧に歯や治療についての説明をしてくれる。中には図解までしてくれることもあるとか。口の中は患者さんには見えないもの。だからこそ説明が必要なのかもしれない。

のざわ歯科医院 休診 日曜・祝日
受付時間 AM10:00~PM6:30
(昼休 PM1:00~PM3:00)
TEL 019-688-7781

3 熊谷

店主の方が、直利電で修行して開いたお店なので、味はもちろんgood！！

おろし天ぷらそばがおすすめです。そば湯もだしてくれます。学校の学食が溜んでいる時行ってみては？

車があれば昼休時間でも帰ってこられます。3層目に授業がある人でも大丈夫です。

15 SUGOサイクル

自転車で行動することの多い大学生、そんな私たちの強い味方がここ。

タイヤのパンクやその他もろもろの修理をしてくれます。自転車の中古品も取り扱っていて、これから自転車を購入しようと考えている人は、一度足を運んでみる価値あり。また、店の前には常時タイヤの空気入れが置いてあります。

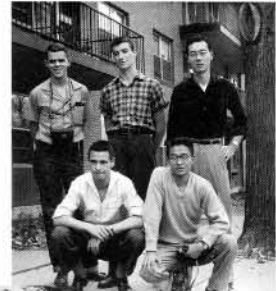
あのころのころ

ノックスカレッジの青春 好意で支えられた 留学4年間



私は一九三七年に神戸に生まれ、神戸市にある県立高校を卒業しました。大学進学を希望し、受験勉強に励んでいた高校三年のある日、担任の先生に呼ばれた私は、アメリカのカレッジへの留学を勧められました。奨学生として四年間学べる、君ひとつ応募してみてくださいという土地柄もあり、今でもこの部活もE.S.S.で、英語の弁論大会に参加したり、文化祭で英語劇をやるために教師さんたちのところに英語を習いに行ったりと、英語は好きでした。余談ですが、文化祭の制

は、英語の台本が見つからないので、図書館で見つけた、日本語版「そらまめが煮えるまで」を自分で英語に「翻訳」し、上演するというめちゃくちゃな試みでした。幸運にもこの奨学金の試験に合格し、アメリカの大学が始まる九月までの三ヶ月間、国際基督教大学の特別生として、英語の発音などを学ぶ貴重な経験をしました。



写真上：寮の仲間たちと(前列右が私)
写真左：「英語の先生」カールと私

でほとんど分りませんが、寮のルームメイト、Cathy Melbyさんが次の日から、私の英語の先生役を自分から引き受けてくれた。毎朝二人のときも何かでなくても、会話の途中で私の発音やしゃべり方をその場で直して、練習させるの徹底ぶりでした。彼はアメリカ人には珍しく、ボディランゲージで、言葉で、本当に

親身に教えてくれて、今でも感謝しています。一年くらい後、Cathyから最初の夜、"Good night"と言ったのを前分かんなかったら、と言われ

たのを思い出します。オリエンテーションの一日、大学近くの湖畔へピクニックに行ってきたときのことです。何やら女子学生達が、片方の靴を脱いで、学生の輪の真中あたりに積み上げ始めました。そして合図とともに、いつせいに男子学生が靴の山に突進して行ききました。首尾よく靴を掴んだ者がだけが、持ち主の女子学生とボクスカランチャを食べる権利を得たのでした。男子学生が奪い合う様は、実に漫画のひとコマでした。英語が分からぬ私は競争に参加できるはずもなく、当然あふれた学生の一人です。こうして私は最初のチャンスを選んだのです。

寮の仲間のほか、同様の奨学金で在学していた先輩にもいろいろ教えていただきました。そして多くの人に支えられ、アメリカの生活に支えられていたのです。このカレッジは小さいながら、英語をはじめ、仏語、独語などの外国語、歴史、政治学、社会学、経済学、数学、物理学などから哲学、古典、音楽、美術など三、四人ほどの先生からなる department が数多

就職座談会 地方公務員の実際と受験対策

- 出席者
高橋俊英さん
矢出町住民課
村田有希さん
盛岡市市民部市民登録課
和田英子さん
岩手県総務部文書公開課



就職座談会は天野巡一教授(左)の軽妙な司会で進められた



高橋俊英さん



村田有希さん

いない。そこで、学部では、県内自治体の若手職員を招いて、学生が直にその体験を聞く機会を設けた。

七月十三日、お話し下さったのは、矢出町職員の高橋俊英さん、盛岡市職員の村田有希さん、岩手県職員の和田英子さんの三人。会には四十人余りの学生が参加し、天野巡一教授を司会に

座談会形式で進められた。天野教授は最初に「なぜ公務員を志望したのか」を尋ねた。やはり、「身分保障がしっかりしている」「高橋、「女性が腰を落ち着けて長く続ける職場」(村田)といった安定志向の答

が返ってきた。と同時に、高橋さんが「住民に直接役立つことができること」、村田さんが「こういう仕事をしたい」と考えたとき、皆さんの役に立つ仕事、最も多く人の役に立つ仕事、それが公務員だった」と答えた。和田さんは、「いろいろな職業を経験した仕事に就こう」と考えていた。「選択肢の一つとして」岩手県職員試験を受けた。

それでは実際、どんな試験対策を行ったのだろうか。村田さんは、町田市の予備校で市役所対策講座を受けた。ビデオで勉強した。和田さんは、三か月間、毎日三、四時間、集中的に勉強した。「受験ジャーナル」を読み、問題集を全科目そろえて繰り返し演習し

た。高橋さんは、意識的に新聞を読んだ。公務員になった現在も、社会の最新動向に常に目を配る必要があるという。民間と公務員との併用を考えている学生も多いと思うが、両方の受験準備を並行して進めるには、体力と時間が必要。これも事実である。また、同じ地方公務員でも、県と市町村では職種によっても受験科目が違うので、注意が必要。との助言があった。

和田さんは、公務員試験の勉強は、六月で終わるよう早めに計画を立てることが必要。スケジュールはほとんど崩れるものと注意を促した。

面接も話題となった。高橋さんの場合は、助役などの集団討論があった。テーマは「矢出町をどういうまちにしたいか」。ものごとを広い視野から見ていかないと、かたが試された。高橋さんは、大学で練式テニス部のキャプテンとして部内をまとめた経験を生かし、司会

面接も話題となった。高橋さんの場合は、助役などの集団討論があった。テーマは「矢出町をどういうまちにしたいか」。ものごとを広い視野から見ていかないと、かたが試された。高橋さんは、大学で練式テニス部のキャプテンとして部内をまとめた経験を生かし、司会

アメリカと私 アメリカの高等教育 女子寮に男子学生が!?

佐藤智子助教
大学院生時代の1979年以来、今日まで、調査研究、学会、学生の引率などで幾度もアメリカを訪れておりますが、今回は長期に亘り学生生活と研究生活を送ったMount Holyoke CollegeとAmherst Collegeを一例に取りながら、アメリカの高等教育の一端を記すことにします。
ボストンから車で西へ約2時間、South HadleyにあるMount Holyoke Collegeは、170年余の歴史を誇るアメリカで最古の女子大学です。私の研究対象であります詩人Emily Dickin-



son (1830-86)の母校として知られています。隣町のアマースト(Dickinsonの生地)にありますAmherst Collegeも1821年創立の古い大学で、ここで「青年よ、大志を抱け」で有名なクラーク博士が教鞭を取り、新島

襄や内村鑑三が学びました。Mount Holyoke College入学前からです。アドミッション・オフィスや留学生担当課の丁寧なオリエンテーションが始まっていたので、どのような学生生活になるかある程度想像することができましたが、やはり実際に輪の中に入ってみると驚きの連続でした。何よりも感銘を受けたのは、学びたいという意志があらば様々な門戸が開かれているということです。最初に驚愕したのは、寮に男子学生が住んでいることでした。Mount Holyoke Collegeは女子大学ですので卒業生に男性はいませんが、1学期あるいは1年間、ある先生の下で研究したいという学生は、男女を問わず受け入れています。この垣根の低さは日本にいた時、夢想不到にしました。
さらに、近くの5つの大学が単位互換の協定を結んでいます、他

大学の学生がキャンパスを闊歩しています。Mount Holyoke College, Amherst College, University of Massachusetts, Smith College, Hampshire Collegeの間には30分間隔で無料のバスが運行されており、Mount Holyoke Collegeの講義が終わるしだいバスに飛び乗り、次はSmith Collegeで、その次はHampshire Collegeで講義を受けることが文字通り可能なのです。制度を作るあたり、それをどのように運用するかという細部のところまで配慮がなされています。それは社会人入学にも当てはまります。アメリカは職場の流動性が日本より高いというものの、仕事を辞めたい学生が入るとなると経済的な障害が大きい。しかも私立の授業料は高く、寮費や食費などを合わせると年間200万円以上かかります。社会人の入学を可能にするために、大学独自の奨学金や低

金利の貸し付け制度が確立されています。初めてアメリカに行く目まぐるしく日々から早20年が経ちました。最近日本の大学にもアドミッション・オフィス入試、編入学、社会人入学、単位互換などが導入されるようになりました。これらの制度の受け皿が完備し、有効に機能するようになれば、日本の大学も多様性を帯び、目的意識を持った学生が学びやすい環境が整うことでしょう。
今回は少し硬い話になってしまいましたが、もし機会があれば次はトライアングル(講義・図書館での勉強・寮生活)を中心に、学生の素顔をお伝えすることにしたいと思えます。
写真はMount Holyoke Collegeの卒業式です。Elizabeth T. Kennan学長と。記念講演の講師は人作家のJohn W. Irvingでした。
1980.5.25

